

No. 302【2018年4月13日配信】

あおり歴史トリビアクイズ 解答編 (担当:鈴木)

お待たせしました！今回は、No.297（3月9日配信）で出題した歴史クイズの解答です。

1、【合浦公園】

諏訪神社の本殿・拝殿が青森空襲によって焼失したため、戦後に払下げられた合浦公園の招魂堂が移築されました。『青森市制百年に寄せて―横山実市長の時代』によれば、道路に敷いた丸太に乗せて二日かかりで引いてきたのだそうです。

「あおり歴史トリビア」No.29（2012年10月19日配信）より



合浦公園の招魂堂(歴史資料室所蔵)

2、【青函連絡船】

昭和39年（1964）の東京オリンピック聖火は、9月17日に北海道から青森まで連絡船で運ばれ、しかもオリンピック史上初、洋上で聖火の引き継ぎが行われました。

「あおり歴史トリビア」No.98（2014年3月7日配信）より

3、【新町尋常小学校】

現在の青い森公園にあった新町尋常小学校（昭和16年から新町国民学校）は、青森空襲で校舎が焼失してしまい、戦後は長島国民学校（現長島小学校）に統合されました。

「あおり歴史トリビア」No.102（2014年4月11日配信）より



新町尋常小学校(『青森市史』第一巻より)

4、【弘前大学医学部】

中央市民センターの敷地には、「弘前大学医学部発祥の地」という碑が建っています。昭和 19 年 5 月、前身である官立青森医学専門学校がここに開校しましたが、青森空襲により附属病院と寄宿舎を失い、昭和 22 年に弘前市に移転しました。

「あおり歴史トリビア」№135 (2014 年 11 月 28 日配信) より



「弘前大学医学部発祥の地」の碑

5、【^{くらべうま}競馬】

江戸時代から明治初年まで、安方町・塩町では 4 月 8 日に競馬が行われていました。これは速さを競うというより、奇抜な装束で格好良く駆け回るオリジナリティ溢れるものだったようです。

「あおり歴史トリビア」№60 (2013 年 6 月 7 日配信) より

6、【浪岡城跡】

昭和 15 年 2 月 10 日、史跡名勝天然記念物保存法（文化財保護法の前身）により、浪岡城跡が青森県内で初めて国の史跡に指定されました。その後は昭和 40 年代より整備事業が進められ、平成 10 年（1998）に史跡公園がオープンしています。

「あおり歴史トリビア」№69 (2013 年 8 月 9 日配信より)



浪岡城跡

7、【3 体】

江戸時代前期の僧円空が刻んだといわれる「円空仏」は青森県内に 17 体あり、そのうち 3 体が青森市にあるそうです。それらは現在、浪岡の西光院、元光寺、そして油川の浄満寺にあり、浪岡の 2 体は県の、油川の 1 体は市の文化財に指定されています。

「あおり歴史トリビア」№71 (2013 年 8 月 23 日配信) より

歴史クイズ、いかがでしたか？ 今年度も、また皆さまに「へえ〜!？」というトリビアをお届けしますね！